



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 バルテス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4442 URL <https://www.valtes.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 真史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6561
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,169	38.7	478	912.2	483	893.3	310	738.0
2022年3月期第2四半期	3,005	24.5	47	△65.3	48	△64.8	37	△57.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 310百万円 (722.5%) 2022年3月期第2四半期 37百万円 (△56.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	45.83	45.61
2022年3月期第2四半期	5.36	5.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,388	2,064	60.9
2022年3月期	2,930	1,712	58.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,064百万円 2022年3月期 1,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,847	31.9	962	68.8	972	67.6	647	56.6	95.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 (社名) 株式会社ミント
(注) 詳細は、添付書類P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	7,150,000株	2022年3月期	7,150,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	351,701株	2022年3月期	375,617株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	6,784,685株	2022年3月期2Q	6,924,268株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しています。

(四半期決算説明会開催について)

当社は、2022年11月22日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結結果計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う行動制限の緩和が進んだことにより持ち直しの兆しは見られたものの、ウクライナ情勢の長期化や原材料価格の上昇、急激な為替変動の影響などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界は、デジタル庁を中心とした行政によるデジタル化推進やビジネス形態としてリモートワーク、クラウド環境の導入、IoT、AI、5G、メタバースなどのデジタルトランスフォーメーション(DX)に関連するIT投資を積極的に行う企業の増加などにより中長期的には市場規模の拡大が継続するものとみられます。

このような状況の下、当社グループの主力サービスであるソフトウェアテストサービスにおきましては、潜在市場規模が大きくまた参入障壁の高いエンタープライズ系(注1)領域の開拓への注力を継続し、売上規模と利益率の向上に努めております。一方で、顕在化するエンジニア不足に対しては、独自教育ノウハウによる業界未経験者の早期戦力化、高スキル人材の登用に加え、人材調達部門の強化にも注力して、社外人材との関係強化対策を行うなど、順調に受注案件を積み上げております。

その結果、当第2四半期連結結果計期間の売上高は4,169,257千円(前年同期比38.7%増)と堅調に推移し、営業利益は478,304千円(同912.2%増)、経常利益は483,479千円(同893.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は310,946千円(同738.0%増)となりました。

(注1) エンタープライズ系

企業の業務システムや情報システム、金融機関、病院、鉄道など大規模かつ社会基盤を支える情報システムなどに含まれ、それらの中心となる制御システムの総称

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、金融、公共や流通向けなどのエンタープライズ系領域の売上高が堅調に推移した他、新規大型再構築案件の上流工程・PMO(注2)・QMO(注3)や、大型マイグレーション(注4)案件への参画も増加しました。また、株式会社ミントを2022年4月より新規連結したことも売上高及びセグメント利益の拡大に貢献しております。その結果、外部顧客に対する売上高は3,784,777千円(前年同期比40.9%増)と堅調に推移しました。増収となったことに加え、従来は上半期に偏重していた人材採用を今期より通年採用方針に変更したことや、広告宣伝費の発生時期が下期にずれ込んだ影響もあり、セグメント利益は462,026千円(同368.2%増)となりました。

(注2) PMO (Project Management Office)

組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム

(注3) QMO (Quality Management Office)

組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム

(注4) マイグレーション

ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

②Web/モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、アプリ開発やリバースエンジニアリングサービス(注5)の売上高が増加したことに加え、セキュリティ・脆弱性診断に係る売上高も堅調に推移しました。また前年同期に発生し、利益を圧迫した不採算案件への対応として進めた管理体制強化が実を結び、当四半期での不採算案件の発生はありませんでした。その結果、外部顧客に対する売上高は370,207千円(前年同期比22.1%増)となり、セグメント利益は53,367千円(前年同期は24,146千円の損失)となりました。

(注5) リバースエンジニアリングサービス

システム操作やソースコードの解読により開発ドキュメント(各種設計書)を作成するサービス

③オフショアサービス事業

フィリピンでの新型コロナウイルス感染症対策に関しては、徐々に規制の撤廃が進み、同国の経済活動の正常化の兆しは見えておりますが、当四半期連結会計期間においても依然大きな影響を与えております。その中で当事業においては、現地日系企業からの引き合いも増加傾向にはありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を完全に払しょくするには至りませんでした。前年同期と比較して現地日系企業との取引規模が縮小したことなどにより、外部顧客に対する売上高は14,272千円(前年同期比9.2%減)、セグメント利益は938千円(同90.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,322,176千円となり、前連結会計年度末に比べ23,396千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少176,272千円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加115,380千円によるものであります。固定資産は1,065,924千円となり、前連結会計年度末に比べ480,665千円増加いたしました。これは主にのれんの計上等による無形固定資産の増加283,172千円、投資その他の資産の増加203,322千円によるものであります。

この結果、総資産は3,388,101千円となり、前連結会計年度末に比べ457,268千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,278,428千円となり、前連結会計年度末に比べ118,986千円増加いたしました。これは主に買掛金の増加83,762千円、未払法人税等の増加46,570千円によるものであります。固定負債は45,370千円となり、前連結会計年度末に比べ13,103千円減少いたしました。これは主に返済による長期借入金の減少10,974千円によるものであります。

この結果、負債合計は1,323,799千円となり、前連結会計年度末に比べ105,883千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,064,302千円となり、前連結会計年度末に比べ351,385千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益310,946千円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.9%（前連結会計年度末は58.4%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末より176,272千円減少し1,160,261千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は322,300千円（前年同期は18,530千円の収入）となりました。これは主に売上債権及び契約資産の増加額98,152千円や法人税等の支払額126,655千円があった一方で、税金等調整前四半期純利益482,386千円を計上したことや仕入債務の増加額84,446千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は481,175千円（前年同期は17,366千円の支出）となりました。これは連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出296,295千円、敷金及び保証金の差入による支出73,030千円、投資有価証券の取得による支出100,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は18,199千円（前年同期比9.3%増）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出10,974千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2022年8月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日（2022年11月14日）に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,356,533	1,180,261
受取手形、売掛金及び契約資産	911,131	1,026,512
電子記録債権	8,194	7,110
その他	69,714	108,292
流動資産合計	2,345,573	2,322,176
固定資産		
有形固定資産	89,460	83,631
無形固定資産		
のれん	64,077	360,408
その他	133,268	120,110
無形固定資産合計	197,346	480,518
投資その他の資産		
繰延税金資産	156,187	165,685
その他	142,265	336,089
投資その他の資産合計	298,452	501,774
固定資産合計	585,259	1,065,924
資産合計	2,930,833	3,388,101
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,606	259,368
短期借入金	120,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	21,948	21,948
未払金	387,421	395,527
未払法人税等	126,356	172,927
賞与引当金	143,608	149,916
その他	184,502	163,741
流動負債合計	1,159,442	1,278,428
固定負債		
長期借入金	54,747	43,773
退職給付に係る負債	60	60
その他	3,666	1,537
固定負債合計	58,473	45,370
負債合計	1,217,916	1,323,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	760,431	788,279
利益剰余金	1,067,995	1,378,941
自己株式	△205,097	△191,972
株主資本合計	1,713,329	2,065,249
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△412	△946
その他の包括利益累計額合計	△412	△946
純資産合計	1,712,917	2,064,302
負債純資産合計	2,930,833	3,388,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,005,975	4,169,257
売上原価	2,317,744	2,964,494
売上総利益	688,230	1,204,762
販売費及び一般管理費	640,977	726,458
営業利益	47,253	478,304
営業外収益		
受取利息	9	10
助成金収入	3,315	2,616
為替差益	—	2,948
その他	363	718
営業外収益合計	3,688	6,294
営業外費用		
支払利息	911	811
支払保証料	308	308
為替差損	1,050	—
営業外費用合計	2,269	1,119
経常利益	48,672	483,479
特別損失		
固定資産除却損	—	1,092
特別損失合計	—	1,092
税金等調整前四半期純利益	48,672	482,386
法人税、住民税及び事業税	22,894	173,416
法人税等調整額	△11,327	△1,976
法人税等合計	11,567	171,440
四半期純利益	37,104	310,946
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,104	310,946

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	37,104	310,946
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	635	△534
その他の包括利益合計	635	△534
四半期包括利益	37,740	310,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,740	310,412
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	48,672	482,386
減価償却費	24,976	29,754
のれん償却額	2,373	18,094
固定資産除却損	—	1,092
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,949	6,272
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18	—
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,211	—
受取利息及び受取配当金	△11	△12
支払利息	911	811
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△12,881	△98,152
仕掛品の増減額 (△は増加)	28,038	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,760	84,446
未払金の増減額 (△は減少)	19,231	△12,615
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△46,175	△38,190
その他	5,400	△24,132
小計	88,053	449,754
利息及び配当金の受取額	11	12
利息の支払額	△911	△811
法人税等の支払額	△68,623	△126,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,530	322,300
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,544	△5,435
無形固定資産の取得による支出	△12,822	△6,424
投資有価証券の取得による支出	—	△100,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△73,030
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△296,295
その他	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,366	△481,175
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△5,000
長期借入金の返済による支出	△10,974	△10,974
自己新株予約権の取得による支出	△4,282	—
自己株式の取得による支出	—	△67
その他	△1,388	△2,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,644	△18,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	△770	802
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,251	△176,272
現金及び現金同等物の期首残高	1,170,437	1,336,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,154,185	1,160,261

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2022年6月27日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役及び当社の従業員並びに当社子会社の従業員に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式24,156株を処分いたしました。

この処分により、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が27,848千円増加、自己株式が13,192千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が788,279千円、自己株式が191,972千円となっております。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第1四半期連結会計期間において、株式会社ミントの株式の全てを取得したため、同社を連結の範囲に含めております。なお、株式会社ミントは当社の特定子会社に該当しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,686,937	303,318	15,718	3,005,975	—	3,005,975
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,732	60,252	28,237	100,222	△100,222	—
計	2,698,670	363,571	43,956	3,106,197	△100,222	3,005,975
セグメント利益又は損失 (△)	98,689	△24,146	9,352	83,895	△36,641	47,253

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△36,641千円は、セグメント間未実現利益の調整額△611千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△36,030千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,784,777	370,207	14,272	4,169,257	—	4,169,257
セグメント間の内部売 上高又は振替高	7,518	106,008	25,068	138,596	△138,596	—
計	3,792,295	476,216	39,341	4,307,853	△138,596	4,169,257
セグメント利益	462,026	53,367	938	516,332	△38,028	478,304

(注) 1. セグメント利益の調整額△38,028千円は、セグメント間未実現利益の調整額2,801千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△40,830千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社ミントの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、当第2四半期連結累計期間においてソフトウェアテストサービスセグメントののれんが298,703千円増加しております。